

令和7年度 指定管理者モニタリングチェックシート

評価期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日		
施設名	日向市日知屋児童センター	指定管理者名	社会福祉法人日向市社会福祉協議会
所管課	こども課	指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日

自己評価 (指定管理者が記載)	経営主体である法人の広報誌等の広報媒体を利用し、情報発信・周知啓発を行ってきました。 周知・啓発を目的に、市内店舗や公共施設にポスターやチラシを掲示し、行事案内を周知しました。 また、SNS（Instagram）を活用し、子育て世代の保護者の目に留まりやすいようにしましたが、今年度は中高生の行動（喫煙・騒ぎ）により小学生が不安を感じ、利用を控えたことや、遊戯室が熱中症対策により使用制限となったことなど、環境面の影響もあり、利用が減少した要因と考えられます。 11月に実施した利用者アンケートでは、自主事業の内容や職員の接遇についても、概ね良好な回答を得ております。
--------------------	--

評価項目		評価内容	評価		確認資料等
			指定管理者	市	
① 利用状況・サービス向上	施設（サービス）の利用状況	利用者数が前年度実績や目標を上回っているか。施設の稼働率はどうか。	C	C	日報、月報、事業報告書
	施設の平等利用	利用者の平等な利用が確保されているか。	B	B	日報、月報、利用者アンケート
	苦情・要望等への対応	苦情、要望等を施設の管理運営に反映できているか。また、苦情数は減少しているか。	B	B	利用者アンケート
	利用者満足度	利用者アンケートは適切に実施されているか。その結果を施設の管理運営に反映できているか。	B	B	利用者アンケート
	サービス向上への取り組み	サービス向上に向けた具体的な取り組みがあるか。（自主事業の周知、接客態度、予約方法の工夫等）	A	B	日報、月報、事業報告書
	自主事業の実施状況	施設の設置目的に沿った自主事業を実施できたか。また、それによって施設利用者は増加したか。	B	B	日報、月報、事業報告書
	①の総括		B	B	
② 管理能力	人員配置の状況	事業計画書の通り人員が配置されているか。必要な資格や経験を有する人員が確保されているか。	B	B	人員配置計画、出勤簿、実地
	人材育成の状況	事業計画書の通り従業員の指導育成及び研修が行われているか。	B	B	研修マニュアル
	コンプライアンスについて	関係法令や市条例、市規則、その他市が定める規程及び仕様書に基づき適切に業務を遂行しているか。	B	B	業務ガイドライン等、実地
	従業員の労働環境	労働法令の遵守や労働条件への配慮がなされているか。	B	B	実地、出勤簿
	外部委託等の状況	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていないか。	A	A	実地
	防犯、防災に対する態勢	避難経路の確保や事故防止策など、緊急事態への対策ができていないか。	B	B	実地
	緊急事態に対する態勢	安全・衛生管理や危機管理に対するマニュアル等の整備や従業員を訓練する等、適切に行われているか。	B	B	危機管理マニュアル等、実地
	個人情報の保護	個人情報保護の規程を整備する等、研修や運用等の適切な対応がなされているか。	B	B	個人情報保護マニュアル等、実地
	情報公開の規程状況	情報公開の規程を整備する等、研修や運用等の適切な対応がなされているか。	B	B	情報公開マニュアル等、実地
	文書管理について	作成・受領した文書は適切に保管及び管理されているか。	B	B	実地、保存文書
	環境への配慮	環境に配慮した物品の購入、省エネの取組、リサイクルの推進等の対応を適切に行っているか。	B	B	日報、月報、実地
	②の総括		B	B	

評価項目		評価内容	評価		確認資料等
			指定管理者	市	
③ 維持管理・ 経理状況	施設、設備等の管理状況	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っているか。	B	B	日報、月報、点検報告書、実地
	清掃、警備業務の実施状況	仕様書等に基づき、清掃業務、警備業務を適切に行っているか。	B	B	日報、月報、実地
	備品等の管理状況	備品台帳に基づき、備品等を適切に管理・保管しているか。	B	B	備品台帳、実地
	指定管理業務の収支状況	収支状況が当初の目標を達成しているか。（利用料金、委託料等の実績）	B	B	日報、月報、事業報告書
	自主事業の収支状況	自主事業の収支状況が当初の目標を達成しているか。	B	B	日報、月報、事業報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行しているか。	B	B	日報、月報、事業報告書
	経費削減の取り組み	経費削減の取り組みが行われ、成果があらわれているか。	B	B	日報、月報、事業報告書
	指定管理料の精算（返還）	基本協定・年度協定に基づき、精算（返還）の要否を確認し、必要時は返還額算定・期限内返還・証憑整理まで適切に行われているか。	B	B	事業報告書、修繕実績書
	③の総括		B	B	
総合評価		①、②、③の総括による総合評価	B	B	

※総合評価の理由	協定書、仕様書及び関係法令を遵守した管理運営がなされており、総合的に良好な管理運営状況であると認められました。 施設（サービス）の利用状況については、利用者数が前年度実績及び目標を下回っており課題が認められたものの、施設の設置目的に沿った自主事業を多数実施し、様々な年代が交流できるよう工夫されていました。 また、外部委託等の状況については、業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせておらず、実地確認により適正な執行体制が確認されました。 さらに、サービス向上に向けて、法人広報誌の活用、市内店舗・公共施設でのポスター掲示、SNS（Instagram）による情報発信等の取組が認められましたが、関係機関への周知不足や利用者の減少も見られ、協定水準を上回る成果が十分に確認できる状況には至らなかったことから、「B」評価としました。
※特記事項 (成果・課題等)	施設（サービス）の利用状況については、利用者数が前年度実績12,512人に対し11,783人となり、前年度比5.9%減となったため、「C」評価としました。 減少要因としては、高学年の利用者が別の居場所を確保したこと等の外部要因に加え、幼稚園等の関係機関への周知が十分でなかったことなど、運営面の課題も認められます。 環境的要因として、夏期における児童センターの暑さ対策が必要となっており、指定管理者と市が協議の上、必要な対策を講じていきます。

※総合評価の理由及び特記事項（成果・課題等）は市所管課が記載します。

評価区分	評価基準	A（優 良）＝協定書等を遵守し、その水準よりも優れた管理が行われた B（良 好）＝協定書等を遵守し、その水準におおむね沿った管理が行われた C（課題含）＝協定等をおおむね遵守しているが、一部に課題が残る内容であった D（要改善）＝協定書等を遵守しておらず、改善が必要な内容であった
	総括	A（優 良）＝評価基準が全てB以上であり、かつAが過半数以上である B（良 好）＝評価基準が全てC以上であり、かつB以上が8割以上である C（課題含）＝評価基準が全てC以上である D（要改善）＝評価基準にDが含まれている
	総合評価	A（優 良）＝総括が全てB以上であり、かつAが2つ以上ある B（良 好）＝総括が全てB以上である C（課題含）＝総括が全てC以上である D（要改善）＝評価基準にDが含まれている